

令和3年に発生した労働災害の分析

事故の型・起因物別死傷者数

[ 全 産 業 ]

上段の( )は死亡者数で内数

事故の型	動力機械						物上げ装置、 運搬機械		装置等							仮設物・建築物・構築物	物質、 材料		環 境 等	その他			総計			
	原 動 機	動力 伝達 機構	木材 加工 用機械	建設 機械 等	金属 加工 用機械	一般 動力 機械	車両系 木材 伐出 機械等	動力 クレー ン等	乗 力 運 搬 物	圧 力 容 器	化 学 設 備	溶 接 装 置	炉 窯 等	電 気 設 備	人 力 機 械 工 具 等		用 具 等	その 他の 装置、 設備		危 険 物、 有害 物等	材 料	荷 重		環 境 等	そ の 他 の 起 因 物	起 因 物 な し
墜落、転落			2			1		51							77	3	(1) 75	2	1	6				(1) 218 (15.4%)		
転倒			2				1	2	5			1	3	6	17	10	352	4	7	6	6	15		437 (30.8%)		
激突			2	1				10	3					4	6	3	9		4	3	1			46 (3.2%)		
飛来、落下			2	3	3	3	2	2						2	7	1		10	4	7	1			47 (3.3%)		
崩壊、倒壊															1			2	2					5 (0.4%)		
激突され			1	2	1	4		6	8	3				6	5	4		10	6	4	15			75 (5.3%)		
はさまれ、 巻き込まれ			5	10	13	50		5	27	1				7	4	3	11	13	3		2			154 (10.9%)		
切れ、こす れ			12		6	16			1					19	1			4			1			60 (4.2%)		
踏み抜き																	3							3 (0.2%)		
おぼれ																										
高温・低温 の物との接 触						1										3	3	2	2	(1) 29				(1) 40 (2.8%)		
有害物等と の接 触																		12			2			14 (1.0%)		
感 電																										
爆 発																										
破 裂																										
火 災																										
交通事 故(道 路)							1	(1) 8	(1) 42					1			1							(2) 53 (3.7%)		
交通事 故(そ の他)																										
動作の反 動、無 理な動 作								3	4					4	7	4	20	20	44	1	48	22		177 (12.5%)		
そ の 他																		1		2	(1) 81	(1) 3		(2) 87 (6.1%)		
分 類 不 能																							1	1 (0.1%)		
総 計			20	21	24	74	1	15	(1) 112	(1) 58			1	3	49	128	31	(1) 471	14	68	71	(1) 58	(1) 157	(1) 40	(1) 1	(6) 1,417 (100%)
(起因物大 分類の計)	140 (9.9%)						185 (13.1%)			212 (15.0%)							471 ↓ (5.8%)		71 ↓ (4.1%)		198 (14.0%)					

(33.2%) (5.0%) (4.1%)

・事故の型別では、①「転倒」、②「墜落、転落」、③「動作の反動、無理な動作」(主として腰痛症)、④「はさまれ、巻き込まれ」、⑤「その他」の順が多い。  
 ・起因物別では、大分類で、①「仮設物・建築物等」、②「装置等」、③「その他」、④「物上げ装置、運搬機械」の順が多い。  
 ・事故の型と起因物の組み合わせでは、①「仮設物・建築物等」での「転倒」、②「仮設物・建築物等」及び「装置等」「物上げ装置、運搬機械」からの「墜落、転落」、③「動力機械」による「はさまれ、巻き込まれ」及び「切れ、こすれ」、④「その他の起因物」の「その他」(主として新型コロナウイルス感染症)、⑤「物上げ装置、運搬機械」による「交通事故(道路)」等が多い。(表中の網掛け太字部参照)